|  |
| --- |
| 学習指導案 |
| 単元名 | 教師  | 単元 | 日付  |
| 体育科（保健分野）「健康な生活と病気の予防」「エイズの予防」 |  | 全２時間 |  |

1.２時間と通した授業のねらい。

・感染症のなかの一つである「性感染症(STI)」について種類・感染経路・予防を知る

・性的同意を知る

・性を自分事として考える

2.単元の指導計画

|  |   | まなブックレベル３ 対応ページ |
| --- | --- | --- |
| １時  | 性感染症について知る。 | P.12 |
| ２時  | 性的同意について理解する性犯罪・性暴力のについて知り、身を守る知識を身につける。 | P.2,7,8,P13,14 |

第１時間目

1. 展開

| フェーズ  | 学習内容・学習活動  | 指導上の留意点 |
| --- | --- | --- |
| 導入 | １．水の実験。・水酸化ナトリウム溶液とフェノールフタレイン溶液を用いて、実験を行う。２．本時の課題を知る | ・性感染症の感染経路に関心をもたせる。・「感染症」の中にも「性感染症があること」、自分事として「性」を考えて欲しいことを伝える。 |
| 展開 | ３．「性感染症」とは・感染経路を知る・種類を知る（特にエイズは掘り下げる）・予防方法を知る・かかったときはどのように対処すれば良いかを知る | まなブック P.１２▶︎性交渉によってうつる感染症・精液、膣分泌液、血液など。日常の生活では感染しない。・HIVを含む性感染症のさまざまな感染経路（性的行為、妊娠、分娩または母乳育児、ウィルスが混入した血液の輸血、注射器・針・その他鋭利な器具の共有など）を説明する。・10代の感染が増えていること。・自覚症状が出ないこともあり、拡大される心配が大きいこと。・クラミジア、淋病、梅毒、HIV、HPVなどの性感染症の内容。▶︎予防、治療、管理が可能である。・一貫した正しいコンドームの使用、挿入性交の回避"お互いに決まった一人とのみ性的関係をもつこと"の実践、同時に複数人との性的関係をもつことを避ける、性感染症の検査・治療を受けるなど。**※正しいコンドームの使い方→別冊**▶︎かかったらすぐに病院へ ・かかる病院の専門外来の種類・性感染症の検査は保健所にて無料で受けられる。 |
| 終末 | ４．学習を振り返り、まとめをする。 | ▶︎悩んだら大人に相談しよう（相談機関の紹介）授業を通して不安になったことや、悩みなどがある場合は、大人に相談してほしいことを伝える（養護教諭、先生、保護者、相談機関など）。▶︎振り返りと次週の予告・安全でない性行為を拒否する必要がある。それを次の時間に学ぶことを伝える。 |

第２時間目

（１）展開

| フェーズ  | 学習内容・学習活動  | 指導上の留意点 |
| --- | --- | --- |
| 導入 | １．前時の学習を振り返る２．本時の課題を知る | ・「性感染症」は、性交渉で感染すること。予防方法があること。自分事として考えて欲しいこと。・性的同意について理解する。（デートDV、性犯罪） |
| 展開 | ３．「つきあう」ってどういうこと？ ４．「性的同意」の概要を知る。（性衝動のおさらい）・「相手に触れたい」などの性交渉に行き着くまでの欲求を指す。５．「人権」を踏まえた上での「同意」６．「デートDV」って知ってますか？（精神、身体、性的暴力）  | まなブックP.７、別冊・お互いに好きで相手を大切に思う気持ちがあれば、２人は立派なパートナー。恋する気持ちは人それぞれ。興味がなくてもOK。・興味を抱き、疑問をもつことは自然なことである。**人間の人生において大事な一部分であり、笑う、ちゃかすのではなく自分のこととして考えて欲しい。**まなブックP.８・性的な接触をして良いか、相手に許可を取ること。・性別や関係性は関係ない。言葉で伝えあうことがマナー。不安な場合はNoと言っても良い。ドラマや映画、インターネットコンテンツを参考にすると、暴力に繋がる可能性がある。まなブックP.２・「全ての人が幸せに生きる権利」がある。主張しすぎも良くないが、言われるまま流されるのも違う。自分を大切にすれば、相手も大切にできる。これは、性の話も同じ。まなブックP.８・実際にその時が来たら、言えない可能性もある。そのため、セーフセックスのために交渉し、安全でない性的行為を拒否するスキルが必要である。・性衝動に任せて性交渉をすることで出てくるリスクがある。（望まない妊娠、性感染）。**※性交渉、正しいコンドームの使い方→別冊**・自分の性的行動に責任を持った行動をすること、リスクという情報に基づいた意思決定をし、それを意思表示する必要がある。心配、不安があるときは「いやだ」と言っても良い。・性的行動に関する意思決定の、ポジティブな結果とネガティブな結果を見極める。未来、人生設計にどのように影響するのか。まなブックP.１３,１４・恋人間で起こる暴力「デートDV」は大人だけではなく、中学生や高校生の恋人間でも起きており、男性でも女性でも被害にあうことがある。・好きな人と一緒にいるはずなのに「つらい」とか、相手のことを「怖い」と思う、相手のことを「独占」「支配」したいと感じるなら、一緒にいることはできない。一人で悩まずに必ず誰かに相談する。 |
| まとめ | ７．学習を振り返り、まとめをする。（個人学習） | ・振り返りと参考資料（ホームページ）の説明 |